

看取りってどんなことをするの？

介護士が看取りに関わり感じたこと

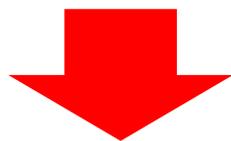
介護老人保健施設 フェルマータ船橋

介護士 内田 茜

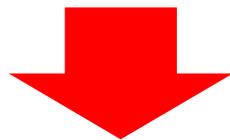
松戸 直也

背景

在宅生活支援に注力する一方で
慣れ親しんだ施設で最期を迎えたい
という声が増えてきた



特別な対応が必要なのではないか



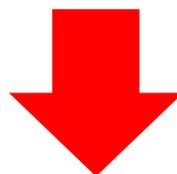
看取る事への不安

目的

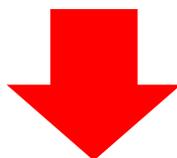
2021年11月～2022年12月に経験した
4例の看取りケアについて振り返り
今後当施設で行っていく看取りケアの
あり方について考えをまとめた為
ここに報告する

方法A 看取りケアの内容

各部署で考えを共有 カンファレンスを行う



カンファレンスでの意見 利用者・家族の
思いを確認しケアの内容を検討し実施



週1回以上の頻度で話し合い
ケアの改善を都度実施

方法B 職員アンケート

介護職員にアンケートを実施（2023年6月）

①老健施設の看取りケアについて
以前どのよう感じていましたか？

②現在の看取りケアの思いや
考え方についてお聞かせください

結果A 実施したケアの一例

日々の様子を写真に撮り、面会時に印刷して渡した(家族との情報共有)

意欲的に摂取できそうなものを家族に聞いて看護師・管理栄養士と相談して提供を行った(利用者ケアについての検討)

相談員やケアマネを通じ家族から趣味や嗜好の聞き取りを行った(再アセスメント)

結果B 以前どのように 感じていましたか

- ・老健は在宅復帰や自立支援を目指して
自宅へ帰るための施設だと考えていた為
看取りをすとは考えていなかった
- ・一度も経験がなかったなので、不安だった
在宅復帰を目指す施設として最期を看取る
というのは違和感でしかなかった

（一部抜粋）

結果B 現在の思いや 考え方について

- ・回数を重ねるにつれ、不安な気持ちは初回より減っていった
他職種で話し合い、情報を交換共有しケアに活かせたことが不安軽減につながった
- ・看取りを行うことにより普段のケアの仕方が変わるわけではないが、向かう方向性の先に死を意識するようになったかと思う

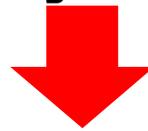
（一部抜粋）

考 察

- ・様子を詳細に伝えられる手段として写真を使用
→家族からも喜ばれたと思われる
- ・好きな食べ物を提供
→覚醒状態が良くなり、最期まで食事の楽しみを提供できたと思われる
- ・他部署との連携・情報共有を密に行う
→不安の解消と看取りにおける考え方や向き合い方を再認識し、状態に合わせたケアに繋がったと考えられる
- ・看取りケアを振り返ってみる
→ケアの考え方や方法と大きな違いはないことがわかった
- ・状態が低下した利用者の意向を聞き取ることが難しい
→利用者や家族のニーズを汲み取る事の大切さを実感した

展 望

最期をどのように迎えたいか、利用者の声や
思いを汲み取ることが求められている



近くで長い時間接している
介護職員だからこそできるケアではないか
入所から在宅生活までのケアを注視してきたが
最期も視野に入れながら関わる必要がある



介護職員だけでなく施設全体で共有し老健施設
での看取りケアを今後も実施していきたい